

地球惑星科学委員会 IUGS分科会 ICS小委員会（第23期・第2回）議事録

日時：平成28年5月22日（日）12：40～13：30

会場：幕張メッセ国際会議場205号室（千葉県千葉市美浜区中瀬2-1-）

出席者：松岡 篤、北里 洋、齋藤文紀、西 弘嗣、川辺文久。

欠席者：上野勝美、江崎洋一、佐藤時幸。

議題

1. 前回議事録（案）を承認した。

2. IUGS-ICSの動向について

ICSの新執行部（2016～2020）は、Chair: David Harper (UK)、Vice Chair: Brian Huber (USA)、Secretary-General: Philip Gibbard (UK)となった。

3. ICS subcommissionの活動状況について

白亜系Albian GSSPの候補（南フランス）に関して、白亜系層序小委員会(SCS)、ICSで可決され、IUGS理事会での最終決定段階へと進んでいる。

ジュラ系層序小委員会(SJS)ではOxfordianとKimmeridgianのGSSP候補の投票が予定されている。佐藤 正氏がSJSの名誉会員に推戴された。

4. 更新統中部基底のGSSP候補について

第四系層序小委員会（SQS）内に設置されたEarly / Middle Pleistocene boundary working groupにおいて、本年10月から来年早々に候補地の順位推薦が行われる見込み。その後、SQS、ICSでの投票に進み、IUGSの理事会で最終決定になる。なお、Upper Pleistocene GSSP候補については、SQSとICSで可決されたが、IUGSの理事会で却下された。

“千葉セクション”に関わる論文が国際学術誌から相次いで公表されている。

5. Anthropocene問題

公式用語とするには、その下限の定義が必要であり、SQSの中の'Anthropocene' working groupでの議論が続いている。

6. その他

本年の第35回IGC（ケープタウン）には、北里委員、齋藤委員が参加する。

次回の会合は、日本古生物学会（平成29年1月、早稲田大学）の会期中に行う。

配布資料

- ・議事次第
- ・前回議事録（案）

以上